

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	良くなっている	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・秋物衣料品、特にヤングブランドの売上動向が2けた増と好調である。食品関連でも物産展催事や生鮮食品が好調に推移している。また、売上構成比ではまだ低いが、インバウンド売上も前年に対し2倍の伸びを見せている。
	やや良くなっている	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・観光客増に加え、気温が前年に比べ2度高く、雑誌、たばこを除く他の部門は顕著に動いている。単価のダウンもなく、当月は好調に推移すると思われる。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・10、11月の連休を利用しての予約がある。かなり高額になる時期だが、3世代旅行が多いような感じがする。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・料金の問題もあるが、客数としては自然増という感じがある。営業努力はさほどしていないが、景気は良くなってきたと感じている。
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・客数はマイナス続きだが、客単価がプラスで推移している、この状況が続くのではないかと考えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・大型スーパーでまとめて買物する人が増えているので、来客数が増加しない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比で2%ほど減少している。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・3か月前と比べても、販売量の動き、来客数共に変化が見受けられない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・稼働率において、前年同月実績を下回る見込み。今月は若干ではあるものの台風の影響により直前のキャンセルも発生したことで、当初の見込みより落ち込んでいる。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・通常9月は夏と冬商戦の狭間で客数、販売数とも落ち込むが、今年は月後半に話題の新商品の発売があり落ち込みはない。まだ在庫が潤沢でないため顕著な伸びは現れてはいない。
通信会社（サービス担当）		単価の動き	・新商品の発売で前月より販売は増加しているが、効果が落ち着くと元に戻ると思われる。	
住宅販売会社（代表取締役）		お客様の様子	・住宅建築相談の件数が落ち着いてきている印象がある。踊り場といえるかもしれない。	
やや悪くなっている	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・3か月前と同様の来場数となっている。	
	一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・消費税増税の影響で、購買が減っている。	
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の影響があるとみられる。	
悪くなっている	その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・台風もなく天候にも恵まれ、また大型店の閉店セールもあり、地域のイベントや祭りも大盛況であった。外国人の人出も確実に増加している。しかし売上は前年より減少して厳しい状況である。問い合わせも減少している。	
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・商店街は中小企業の集まりである。現在は観光土産店が多くなり、客の奪い合いが起きている。単価的にも利幅が少なく、売上を上げるために各店努力しているが、一般の衣料品等その他に関しては客単価が伸びず、危機的状況である。	
企業動向関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・今年は天候にも恵まれ、行楽用の食品の販売が好調に増加している。
	変わらない	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・沖縄県内においても人手不足が深刻化しており、人件費アップが徐々に収益を圧迫している。それに対し、客への単価改定が追い付いていない。
通信業（営業担当）		取引先の様子	・仕事は確保されている。雇用も増えている。仕事の受注も確実に増えているが、単価が低いことに変化がない。	

	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けの出荷は前年比増。民間工事向けの出荷は前年比減。全体では横ばいである。
	悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅及び住宅リフォームの契約件数が減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(沖縄)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼は堅調に続き、1社から複数の派遣依頼や従来とは異なる部署からの依頼も増えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・福祉系、建築系の求人が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・正規雇用で求人を出しても、応募が全くこないとのことで企業から派遣会社へ問い合わせしてくるケースが増えている。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・今年6月の週平均の求人数986件に対し、9月は995件とほぼ同水準である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・仕事が増えているが、すぐに使える人材がいない。新卒採用をしたいが、今年度は見送っているとの声がある。
やや悪くなっている				
	悪くなっている	-	-	-